○○町　地区防災計画（配布版）

令和　　年度版「　テーマを記入しましょう　」

１．地区の特性

この地区は、

|  |  |
| --- | --- |
| 南海トラフ地震の震度 | 震度６弱の揺れが予測されています。立っていることが困難で、固定していない家具は大半が移動し、倒れるものもあります。古い木造家屋は、倒れるものもあります。 |
| 地震被害の危険度 | 建物倒壊等により道路が閉塞する可能性が高いです。 |
| 矢作川が氾濫した時 | ５ｍ～１０ｍの浸水が１日～３日続き、氾濫流により家屋が倒壊するおそれがあります。 |
| 土砂災害の危険 | （具体的な場所を記入）に土砂災害警戒区域があります。 |
| 路上浸水の危険 | （具体的な場所を記入）で浸水が起こりやすく、浸水警報装置が設置されています。 |

このような災害から身を守るため、本紙を参考に活動に協力してください。

２．活動する場所

町防ぎょ隊本部や近隣待避場所、指定緊急避難場所は「○○町防災マップ」で確認してください。

３．組織の体制

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 総代 | 副総代・会計・幹事 | 対策部会 | 情報班（　　名） |
| 警防班（　　名） |
| 警戒班（　　名） |
| 支援部会 | 誘導班（　　名） |
| 救護班（　　名） |
| 資材班（　　名） |

４．活動内容

①地震活動タイムライン

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 時期 | 町災害防ぎょ隊 | 住民 |
| 平常時 | 住民に対する啓蒙活動訓練等の実施計画等の見直し | 防災マップの確認、訓練参加耐震化、家具の転倒防止家庭内備蓄（３～７日分） |
| 発生前 | 南海トラフ地震臨時情報（巨大地震警戒・注意）が発表された場合は、住民に情報を伝達し、自主避難を呼びかける。（発表がなく地震が発生する場合もあります） | 日頃の備えを確認避難準備危険箇所を避けた生活自主避難（自主避難所は、市の情報を確認） |
| 地　震　発　生 |
| 発生直後 | 家族の安否確認・応急処置防ぎょ隊本部設置（協会長）候補地：○○公民館本部に参集し、活動方針を検討（三役、部会長）近隣待避場所に参集組ごとに安否確認（組長）役割に基づき活動する（各係）①情報伝達②初期消火③被災者救助④負傷者の搬送→○○中学校 | 家族の安否確認・応急処置ガス、ブレーカーを止める玄関に避難のサインを出して避難近隣待避場所に避難安否確認後、防ぎょ隊の活動に協力組ごとに避難を支援し合いながら、避難所まで避難 |
| 避　難　完　了　避難所：○○小学校 |
| 避難後 | 他の地区と協力し、避難所を運営支援情報や生活再建情報の共有被害の把握、町内のパトロール復旧作業、片付け行方不明者の捜索状況により、炊き出しの検討 | 避難所運営に協力防ぎょ隊の活動に協力自宅の安全が確認でき次第、帰宅自宅の被害が大きい場合は、仮設住宅などの設置を待つ |

②風水害活動タイムライン

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 時期 | 町災害防ぎょ隊 | 住民 |
| 平常時 | 住民に対する啓蒙活動訓練等の実施計画等の見直し | ハザードマップの確認、訓練参加マイタイムラインの作成家庭内備蓄（３～７日分） |
| 大雨警報洪水警報暴風警報等 | 防ぎょ隊員で情報共有今後の情報に警戒 | 庭の片付け浸水対策避難準備 |
| 矢作川早期避難情報第１次避難 | 防ぎょ隊員と高齢者世帯に情報共有要支援者の避難を支援続報の第〇次避難に警戒 | 避難に時間のかかる要支援者等は、避難を開始避難所以外の場所に避難できる人は、避難を開始 |
| 矢作川早期避難情報第〇次避難 | 町内全体に情報共有避難の呼びかけ | 全員、避難を開始 |
| 警戒レベル３高齢者等避難 | 防ぎょ隊員と高齢者世帯に情報共有要支援者の避難を支援 | 避難に時間のかかる要支援者等は、避難を開始危険や不安を感じる人は、避難を開始 |
| 警戒レベル４避難指示 | 町内全体に情報共有避難の呼びかけ | 全員、避難を開始 |
| 避　難　完　了　避難所：△△小学校（※〇〇小学校は開設されません） |
| 被　害　発　生 |
| 避難後 | 他の地区と協力し、避難所を運営支援情報や生活再建情報の共有被害の把握、町内のパトロール清掃作業、片付け行方不明者の捜索状況により、炊き出しの検討 | 避難所運営に協力防ぎょ隊の活動に協力浸水が収まり次第、帰宅自宅が被害を受けた場合は、仮設住宅などの設置を待つ |

５．活動計画

①防災講座の開催

|  |
| --- |
| 例）町民の防災意識啓発のため、年２回（５月、11月頃）の防災講座を開催します。内容は出水期やその年に実施する訓練の内容を考慮して、防災課と相談します。開催する際は、案内を回覧しますので積極的に参加してください。 |

②防災訓練の実施

|  |
| --- |
| 例）災害時に迅速な避難と活動を行うため、年１回の防災訓練を実施します。訓練は、避難訓練（地震）、避難訓練（風水害）、初期消火訓練、応急救護訓練、情報伝達訓練、避難所運営訓練などから選びます。ただし情報伝達訓練は、毎年必ず実施します。訓練の内容は、防災課と相談して計画します。開催する際は、案内を回覧しますので積極的な参加・協力をお願いします。 |

③資料等の見直し

|  |
| --- |
| 例）町防災マップや防災計画は、定期的に見直しを行います。マップに掲載の無いことや、防災訓練を踏まえて気が付いたことなどがあれば、総代まで教えてください。 |

■発行日：令和　年　月　日

■発行主体：○○町防災防犯協会（○○町内会）

■製作

・総代

・副総代

・会計

■協力

・岡崎市防災課